



冬休みせいせん図書(3・4年)



平成29年12月 杉教研学校図書館部

もうすぐ冬休みです。いつもより少し長い本を読んでみるのはいかがでしょうか。
部屋をあたたかくしてゆっくり読書もいいですよ。

「はじめてのオーケストラ」

佐渡 裕 原作 小学館

6歳のみーちゃんは、12月の日曜日、初めてコンサートに行きます。オーケストラとはどんなものか、コンサートの様子がえがかれています。作者は指揮者の佐渡裕氏。ご自身のお子さんも、6歳のときに初めてコンサートに行ったそうです。たくさんの人で作る音楽ってすごいですね。これを読んだら、行ったことのある人もない人も、コンサートに行きたくなる、そんな本です。

「ひまなこなべ」

菅野 茂 文 とい かや 絵

あすなろ書房

このお話は、北海道などに昔から住んでいるアイヌの人々に伝わる物語です。クマの神が、おもてなしをうけている家で、おどりのうまい若者と出会います。その正体は小さいなべでした。どうしておどるのか？ その理由に、大切な教えがこめられたすてきな昔話です。

「ようこそ！花のレストラン」

多田多恵子 作 少年写真新聞社

自然の中には、すてきなレストランがいっぱい。あまいかおりがただよい、しゃれたグラスにジュースがたくさん…。中には、ワナのあるこわいレストランも。実はこれらはみんな、花なんです。いろいろな花のレストラン、見つけてみませんか。

「アルバートさんと赤ちゃんアザラシ」

ジュディス・カー 作 徳間書店

もし、数日でも本物のアザラシと生活したら、どんなことがおきるでしょう。母親をうしなった赤ちゃんアザラシのチャーリーを助けようと大活やくしたアルバートさんの心あたたまるお話です。

「ゴードン・パークス」

キャロル・ボストン・ウェザーフォード 文
光村教育出版

ゴードン・パークスはアメリカのカメラマン。その作品は、見た人の生き方を変えるかもしれない。1枚の写真の向こうには長いお話がある。平等って何だろう？人種差別って何？はだの色やうまれた場所で「あなた」の何が分かるというの？

「ひいな」

いとう みく 作 小学館

由良は、母親の仕事の都合で祖父母のところにあずけられます。そこで出会っためびなの濃姫のうひめに災厄さいやくから守ってもらうこととなります。濃姫や町の人々とかかわりながら、由良は少しずつ成長していきます。ひなまつりの前に読んでおきたい、少女とおひな様のちょっとふしぎなお話です。

その他のおすすめの本

本の名まえ	さくしゃ	しゅっぱん社
ぼくらは鉄道に乗って	三輪 裕子	小峰書店
落語少年 サダキチ	田中 啓文	福音館書店
アームストロング	トーベン・クールマン	ブロンズ新社
さくら研究ノート	近田 文弘	偕成社
世界の難民の子どもたち② 「イラン」のナビッドの話	アンディ・グリーン	ゆまに書房
くらやみのなかのゆめ	クリス・ハドフィールド	小学館
コロコロドミノ装置	野出 正和	いかだ社
ハルとカナ	ひこ・田中	講談社
動物がすき！	安間 繁樹	福音館書店
たびネコさん	ケイト・バンクス	きじとら出版